



日時：2024 年 5 月 23 日（木）19:00～20:50

会場：Zoom によるオンライン開催

出席理事：赤木 禎治、石津 智子、稲井 慶、今井 靖、岩田 祐輔、上村 秀樹、榎本 淳子、大内 秀雄、落合 亮太、小野 博、笠原 真悟、齋木 佳克、坂田 泰史、庄田 守男、先崎 秀明、立野 滋、照井 克生、長坂 安子、中埜 信太郎、籾 義仁、檜垣 高史、兵藤 博信、平田 康隆、平松 健司、水野 芳子、三谷 義英、宮崎 文、八尾 厚史、山岸 敬幸、山村 健一郎（30 名）

欠席理事：桂木 真司、坂本 一郎、塩瀬 明、新川 武史、瀬尾 由広、辻田 賢一、安田 聡、吉松 淳（8 名）

出席監事：森 善樹

欠席監事：松尾 浩三

出席顧問：市田 露子、松田 暉

欠席顧問：丹羽 公一郎

1. 開会

理事の過半数である 38 名中 30 名が出席し、会の成立が宣言された。

2. 報告事項

報告事項 1：前回議事録報告（担当：赤木理事）

報告事項 2：ACHD 手術手技研究会について（塩瀬理事）【資料 1】

参加者も多く盛況であり、余剰金は次回以降の運営経費とする

報告事項 3：各委員会委員長より報告（各委員長）

・将来構想委員会（赤木理事）

2025 年理事、評議員改選について

理事の人数 再任過程

理事長選任のプロセスの明確化

ワーキンググループを作って検討

・学術委員会（稲井理事）

研究部会（石津理事） 研究プロジェクト 5 枠のうち現在 1 枠が埋まり、新規申請が 2 編あった

教育部会（山村理事） 6 月 8 日第 30 回セミナー

「循環器内科医のための ACHD」

第 31 回は日程選定中（10/12 or 13 が候補か）

セミナー運営としては共催セミナーに 2 社協力いただけると（各 30 万円）参加者が 200 人集まれば運営継続することが可能

稲井理事：ACHD セミナーと NIGHT のすみわけについて

赤木理事：演者選びには苦勞していないが、予算が問題

ACHD TIMES で得た黒字の一部で ACHD NIGHT の経費を補っている

三谷理事、山岸理事：APSACHD NIGHT における川崎病の企画や

小児循環器学会の国際プログラムに ACHD NIGHT

のネットワークを活用させて頂くことに感謝が述べられた

YIA 選考部会（八尾理事）

今年も例年通りの時期に募集

昨年は集まりが悪かったので、今年も悪かったら修練施設に声かけを検討

学術集会企画部会（檜垣理事）

テーマを検討中。よいアイデアが出ており、近日確定の予定

・学会編集委員会（坂本理事）

会誌発刊について

・専門医制度委員会（石津理事）

試験問題作成部会（宮崎理事）今後の作業過程の確認

2025 年の第 3 回に向けて準備

暫定指導医の申告漏れの救済措置（石津理事）

自薦の書類（2018 年と同じ基準）

今年の 11 月までに申し込み

数名の見込み

専門医認定部会（立野理事） 専門医試験日程の確認

日程候補：9/19 から心臓病学会があるので、9 月の前半の予定

修練施設部会（八尾理事） 2023年の施設数の報告

今年も募集の予定

維持の難しさが問題になっているので、今回は申請を強く勧める予定はない
7月くらいに全施設に「維持が難しいかどうか」を尋ねて、学会が相談に乗ることを検討中

・移行医療・専門医制度普及委員会（三谷理事）

ACHD学会と小児循環器学会で案を提出、県の医療計画に採用された例も
移行医療支援センター：石津理事：支援センターは全国に広がる見込み

今井理事：心臓病の相談窓口ができた

脳卒中对策基本法：法律が整備されたことで環境が整ってきている

どういう形で展開していくかを議論する必要あり

坂田理事：法律ができて循環器でも移行医療が大切だという意識が高まっていると現場レベルで感じる

ただ、学会の指標を厚労省・行政に持ち込むのはハードルがある

中埜理事：モデル事業が単年度予算なので、継続性に問題あり

・倫理委員会（宮崎理事）

特になし

・保険委員会（小野理事）【資料2】

成人先天性心疾患外来診療加算について内保連からの回答

「別途評価を行うべき根拠が十分に示されていない」不採択

次回は令和8年度

・移植委員会（齋木理事）

ACHDの移植適応に関する国際レジストリは停滞中

ハンブルグ大学のセニング先生が一人でやっており倫理審査など未整備

JSACHDとしてはしばらく慎重に対応する予定

愛媛宣言を広めよう：ACHDの移植適応基準に関するシンポジウムを予定

移植のアロケーション：データを示す必要あり

・渉外委員会（笠原理事 赤木理事）

日本肝臓学会とのジョイントセッション(6/14 日本肝臓学会) 【資料3,4】

「FALD診療の手引き」作成に向けて：南江堂

日本小児循環器学会「小児心不全薬物治療ガイドライン改訂版 2024」について

【資料 5,6】

増谷先生、犬塚先生協力予定

日本心血管インターベンション学会からの連携依頼
CVIT の中で ACHD のインターベンションができる施設を決めるにあたり、
ACHD 学会の修練施設・連携施設を参考にさせていただきたい

第 4 回 APSACHD クアラルンプール開催 今後の方針 【資料 7,8】

マレーシア循環器学会にあわせて開催

100 名程度の部屋が満席

第 5 回は 2026 年にタイ、第 6 回は 2027 年に韓国で開催予定

APSACHD NIGHT のアーカイブ配信のリクエストがあったが、

個人情報の問題などがあり pending

2024 - 25 年の ACHD 国際学会 (APPCS, WCPCCS など) 【資料 9,10】

・ 広報交流委員会(山村理事)

ACHD TIMES の刊行状況

ACHD NIGHT のアーカイブ配信状況

・ 財務委員会(立野理事)

特になし

・ 多職種専門職委員会(水野理事) 【資料 11】

情報交換会

セミナー企画・学術集会企画

審議:

① 多領域専門職ワーキングの設置

若手で興味を持っている人が増えているのでメンバーに入ってもらおう

② 次回の学術集会で「チーム医療の推進 (多職種連携)」のシンポジウム

現状報告と意見交換の場

① ②ともに承認された

< 関連委員会 >

・ 日本循環器学会学術委員会、先天性心疾患成人先天性心疾患部会 (山岸理事)

ガイドライン改定の進行状況

- ・成人先天性心疾患対策委員会：循環器内科ネットワーク(八尾理事)
多施設共同研究が進み始めている
レジストリのファイルに自動でデータが入力できるように改善を検討中

報告事項 4：

- 第 25 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（上村理事）
学会の会計がほぼ確定し、予算内で終了することが可能となった
海外ゲストを招請しなかったことも経費節減に影響した
資金集めの問題を解決するには会員数を増やす必要あり
ACHD NIGHT の一部を非会員をターゲットにした内容にする手も

八尾理事: 学会の中で学術集会開催の補助金を優先した方がよいのでは

- 第 26 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（大内理事）

資金集めが大変
単年の学会長に一任するのは難しい時代になってきている
サステナブルなシステム作りが必要か
多くの演題を提出いただき参加者増に導きたい

- 第 27 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（坂田理事）

学術集会・専門医・学会雑誌が三本柱なので、継続性のために 2 日にした
3 会場を 4 会場にする予定
学会運営会社との交渉も重要
ACHD 学会は熱意があるので、理想を目指すアカデミックな学会にしたい

審議事項

1. 2025 年の総合修練施設、関連修練施設認定の要件に関するワーキンググループ設立について（石津理事）
ACHD 専門医が 1 名は必要
継続性のためにワーキンググループを設立予定
2. 学会規約の未整備分野に対する提案（八尾理事）
委員会設置や委員の決定方法等について諸規則を整備することを提案
本学会の立ち上げから経緯を知る立野理事らを中心に次回の理事会までに検討
3. 次回理事会日程について
10/24(木) 19:00～ 第 3 回理事会予定

4. 閉会